

ふくしまインフラ長寿命化研究会 講演会

2018年1月19日(金)

時間：14：00～15：30

場所：日本大学工学部ハット NE 3階大講堂

*公聴無料

講演内容

講演1. 「産学官連携で目指す構造物の長寿命化」

佐藤和徳 日本大学工学部 工学研究所 教授 (元国土交通省東北地方整備局)

講演概要：新設であれ既設であれ構造物の長寿命化を図ろうとすると、新たな劣化形態や補修の新技术などが出てきており、従来方式では到底対応困難となっている。今後、真の構造物の長寿命化を目指すためには産学官の連携が不可避となっている。

講演2. 「桑折高架橋におけるコンクリート構造物の品質確保に関する取り組み」

子田康弘 日本大学工学部 土木工学科 准教授

講演概要：桑折高架橋は、東北地方整備局の復興道路の試行工事で構築されたコンクリート構造物の品質・耐久性確保システムを下部工から上部工まで本格的に導入した1橋目である。福島県の地元建設業者も本システムに基づく施工に取り組み、“しないこと、できないことは違う”ということをコンクリート構造物の表層品質(仕上がり)を通して体现している。話題提供では最近までの施工状況について紹介するものである。

申込は[ふくしまインフラ長寿命化研究会ホームページのTOP PAGE 最新情報]よりお願いします。

<http://www.a-sif.jp/index.html>